

将人さんと由里香さんは同級生で写専卒。
二人の男の子は共に野球に夢中。
お母さんの由里香さんはドロドロになった
ユニホームの洗濯、大量に食べる食事作り、
仕事はカメラマンと毎日がてんやわんや。
メイドイン吉本ファミリーには活気がみなぎる。

吉本 将人 × 由里香 × 翔太 × 陸人

©吉本将人

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.15

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

夏休みに家族で将人さんの育った和歌山に旅にでた。
早朝の白浜があんなに綺麗だったなんて感動でした。

ある日、突然に電話をかけた。「岡写真館さんですか?」「ハイ」「由里香さんですか?」「そうです」「写専の濱口です」「うわっ、ご無沙汰しています」「何十年ぶりだろうか。電話の向こうで驚きと懐かしさが交差して、やや戸惑いの声にわたしは妙に嬉しさが胸を震わせた。彼女(40)は夫の吉本将人氏(41)と4年間の交際を経て1999年に結婚。共に写専卒である。現在は彼女の実家である岡写真館(津市)を継いでいる。二人の男の子がいる。長男は翔太君(中学3年生)で次男が陸人君(中学1年生)共に野球をやっているようだ。長男はイケメンでクラスでも人気者です(笑)次男はおもしろいキャラです(笑)

由里香さんに「将人さんのどんなところに惹かれましたか?」「主人は答えてくれませんが、わたしは彼の優しさど何事にもポジティブに考えられる頼れるとこに・・・今はあまり優しくありませんが(笑)いや、彼の愛情は深いハズです。

多感な少年二人がスポーツで疲れた身体をどっかりと椅子に下ろし、母が作った自慢のハ

ンバーグをかき込む。それを見守る由里香さんの笑顔に将人さんの口元が優しく緩んでいる食卓のシーンが目につかびます。コレこそが青春の鮮やかな光が弾け飛びファミリーではないか。

営業写真館として大切にしている事って何ですか?「常にお客様の立場になって考える。人と人のつながりを大事にする」ように心がけています。あの有名な舞台演出家の蛸川幸雄さんは「演出家の仕事は80%が俳優とのコミュニケーションです」という。営業写真館も同じような事が言えるのだろう。お客様とどれだけ話をするか、そこから信頼感をつないでいくのだろう。それが岡写真館の力になるのである。今、二人は40歳台の入り口にさしかかったところである。コレからが楽しみである。二人でもっと走れ!四人でもっと走れ!もっと、もっとと遠くへ。

由里香さんに聞いてみた。「今、何がしたいですか?」答えは「ゆっくりと寝たいです」ときた。(は)



家族が揃って写真を撮るなんて何年ぶりでしょうか。ましてや主人とのツーショットなんて(笑)写真でまたファミリーがひとつになる。やっぱり写真の力って強いですね。

©吉本将人